

～第35回マカオ国際音楽祭 Report～

日本センチュリー交響楽団は、首席客演指揮者（次期音楽監督）の久石譲と共に第35回マカオ国際音楽祭出演のため、10月18日から6日間の日程で中国のリゾート地・特別行政区のマカオに行っていました。

チケット抽選販売では、センチュリーの出演公演の2日間で約2,300席に対し、60,000人を超える申込みがあったほど注目度の高い公演となりました。

楽団にとって11年ぶりの海外公演は、来演を心待ちにしてくださっていた現地のお客様と、優れたマカオのスタッフの皆様のお蔭で、良い交流と有意義で充実した海外公演を終えることが出来ました。

2024. 10/15（日）

マカオへの直行便が少ないため、ステージスタッフ・チームは大型楽器たちと、先発隊として出発。台北経由便での大移動となりました。

2024. 10/18（水） 出国～マカオ入り

本隊一行は関西空港からマカオへ。

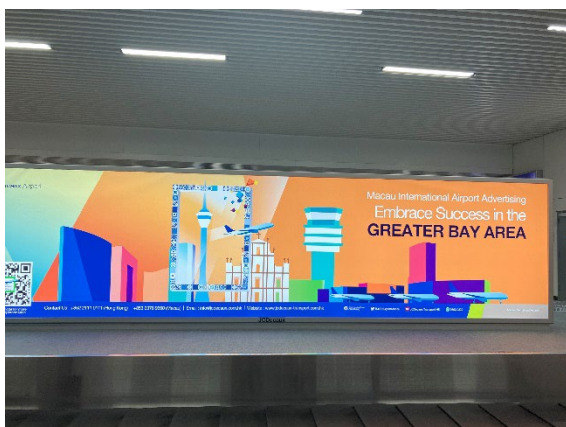
出国&入国時には手持ち楽器のカルネ通関手続きのため待機時間がかかります。海外ツアーはこういったひと手間がかかることを実感。

4時間半ほどのフライトで無事にマカオに到着。

ホテルではすでに現地入りしているステージスタッフが出迎えてくれました。

出発前：関西空港にて期待とワクワクの表情の楽員たち





10/19 (木) 練習日 マカオ文化センター リハーサルルーム

19日からマカオ・オーケストラの練習場をお借りして久石譲マエストロとの現地リハーサルがスタート。共演するマカオ・オーケストラのメンバーも加わって2日目の合同演奏プログラムを重点的に練習しました。マカオ・オーケストラの音楽監督で今回の音楽祭のプログラミング・ディレクターを務めるリオ・クオクマン氏も見学に来られていました。



10/20 (金) 練習日 マカオ文化センター リハーサルルーム

20日のリハーサルではソリストのヴィオラ奏者の
アントワン・タメスティさんも加わり、「Viola Saga」
の音作りを改めておこないました。この日も時間いっ
ぱいまで入念にリハーサルを行いました。



2023/10/21（土）20：00～ 本番1日目：「久石譲 360 非凡傳奇」

マカオ文化センター 総合劇場

指揮：久石譲 ヴィオラ：アントワン・タメスティ 管弦楽：日本センチュリー交響楽団

シューマン：交響曲 第4番 ニ短調 作品120

久石譲：Viola Saga

ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」

（ソリストアンコール）

バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007 より プレリュード(ヴィオラ Ver.)

ヒンデミット：無伴奏ヴィオラ・ソナタ第1番 Op.25-1 より第4楽章

（オーケストラアンコール） 久石譲：Kiki's Delivery Service

いよいよ第1日目の公演。この日は10月定期と同プログラムということで、メンバーも少しだけ
リラックスした雰囲気でしたが、ゲネプロが始まると空気も一変。久しぶりの海外公演で、いつ
もと違う空気感にピリッとしたムードで進んでいきました。

本番は、久石マエストロのタクトに導かれてロマンチック溢れるシューマン、「Viola Saga」では
タメスティさんによるヴィオラの魅力も炸裂、そして圧巻の疾走感のベートーヴェン「運命」に
満員のお客さまも終始圧倒されている様子でした。アンコールの「Kiki's Delivery Service」の演
奏が始まると、日本では考えられない大歓声が沸き起こりました。演奏が終わると会場は拍手の
渦に…マエストロも楽団員もまずは1日目を無事に終え、安堵の表情で会場を後にしました。



2023/10/22（日）20：00～ 本番2日目：「久石譲 360 千與千尋」

マカオ文化センター 総合劇場

指揮：久石譲 管弦楽：日本センチュリー交響楽団 共演：マカオ・オーケストラ *

ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」

久石譲：DA・MA・SHI・絵 *

久石譲：久石譲：Spirited Away Suite （「千と千尋の神隠し」組曲） *

（オーケストラアンコール）Merry-Go-Round

2日目は、マカオ・オーケストラとの共演も含めた音楽祭のためのプログラム。

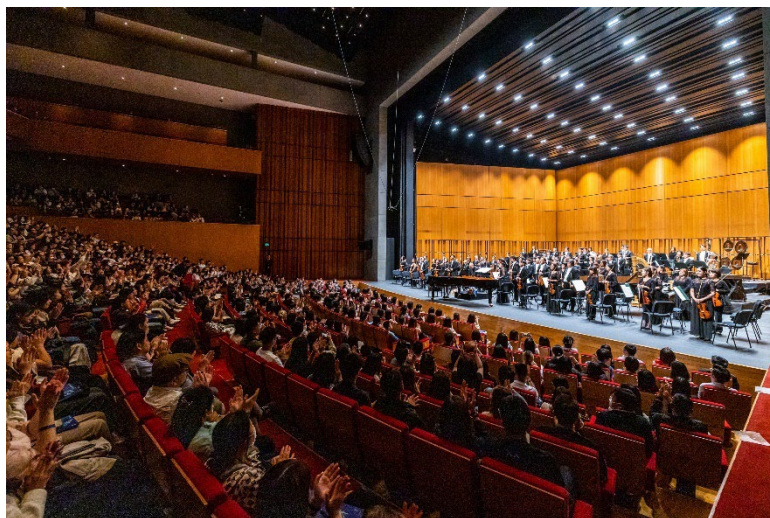
ベートーヴェン「運命」の弦楽器は10型編成、それ以外は14型編成ということで、舞台転換では日本とマカオのステージスタッフが丸一となって活躍しました。

本番が始まると、昨日にもまして圧倒的な疾走感で駆け抜けていったベートーヴェン「運命」、後半はマカオ・オーケストラのメンバーとの共演による久石作品の2曲。

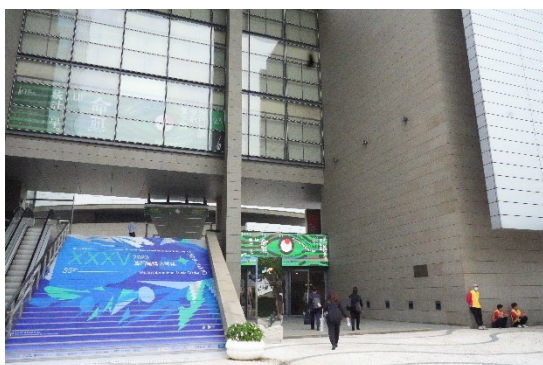
特に「Spirited Away Suite」（千と千尋の神隠し組曲）は、今回のプログラムの目玉でもあり、演奏終了後は前日にも増して、割れんばかりの歓声と拍が起きました。

アンコール曲の「Merry-Go-Round」では、またも冒頭のマエストロがピアノを弾き始めると大歓声！カーテンコールでマエストロは何度も呼び戻され、メンバーとともに満面の笑みで拍手に答えていました。

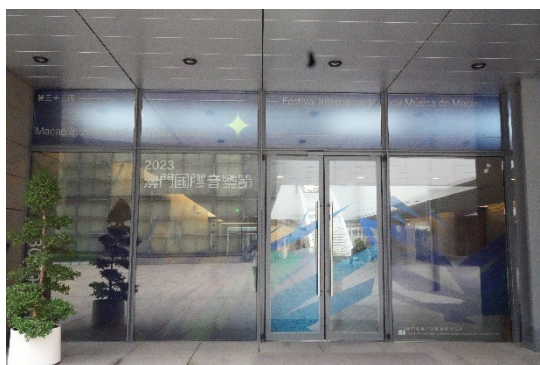




～その他写真集～



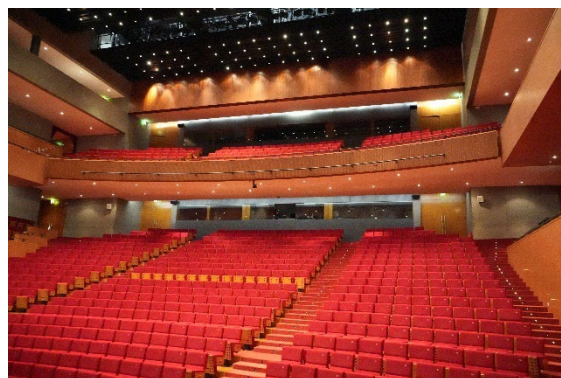
マカオ・文化センター



正面入口



ホワイエの巨大ポスター設営



客席・座り心地の良い座席でした



楽屋通路には劇場での歴代上演ポスターがずらり



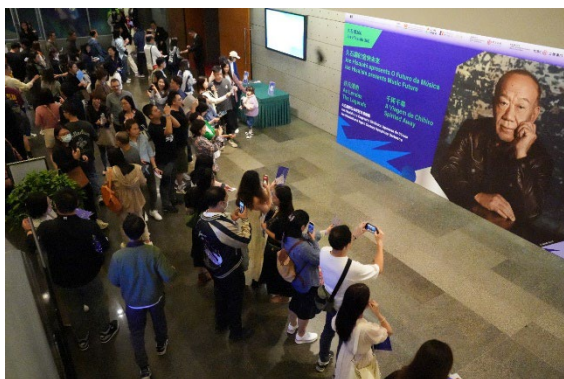
開場中



入場を待つ人々の列。
レセプションистは恰幅の良い男性スタッフたち



マエストロの CD 販売大盛況！



ポスター也大盛況！



開演前の高揚感



華やかなスタンド花



街中の音楽祭フラッグ



ホテルから劇場に行く道中に出現する公園